



令和7年度学校経営構想

鍛えて、ほめて、伸ばす！
子どもの可能性

<p>公教育の立場</p> <p>日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、国、県、市の学校教育施策等、「鍛ほめ福岡メソッド」の展開、嘉麻市教育基本条例、第6次嘉麻市教育アクションプラン(2年目)</p>	<p>学校の教育目標</p> <p>ふるさとを愛し、夢の実現に向け感謝の心を持って共に学び合う児童生徒の育成 ～対話・協働・探求・創造～</p>	<p>児童生徒、地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒数637名(児童数408名、生徒数229名)で、明るく元気で素直である。 ・学習意欲・学習習慣及び基本的な生活習慣の二極化が課題である。 ・生活環境の厳しさがあるが、保護者・地域の学校への期待が大きい。
<p>目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら地域及び社会に積極的に関わり行動する教職員 ・新しいことに主体的にチャレンジし率先垂範する教職員 ・教育専門職として、児童・生徒の可能性を引き出す教職員 ・すべてに信頼される教職員 ・義務教育学校として力を合わせる教職員 	<p>目指す生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で生きていくために必要な力を確実に身に付ける児童・生徒(知識・技能) ・自ら主体的に考え、他者と協力して問題をみつけ、解決に向かう児童・生徒(思考力・判断力・表現力) ・何事にも明るく前向きに、最後まで粘り強く挑戦する児童・生徒(学びに向かう力・人間力) ・感謝の心を持ち、地域の良さを誇れる児童・生徒(郷土を愛する人材) 	<p>目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力・豊かな心・健やかな体を身につける学校 ・個性を伸ばし将来の社会に貢献する児童・生徒の育成を行う学校 ・保護者並びに地域と共に作り上げる、開かれた学校 ・地域から信頼を得る義務教育学校

教育課題

- ・学力・体力の向上(基礎・基本の習得、表現力の向上)
- ・規範意識の醸成(人権感覚のある、適切なコミュニケーション力)
- ・不登校児童・生徒数の改善(人間関係づくり、対応能力の育成)

経営課題

- ・教職員個々が主体的に参画する学校経営
- ・実践的指導力(授業力・経営力・対応力)の向上
- ・地域の人的・物的資源を活用する学校づくり

重点目標

不登校児童・生徒数の改善、未然防止
(数値目標:前期課程8人以下、後期課程18人以下)

経営の重点

- 〈組織運営に関すること〉
 - ・義務教育学校運営のための短期的な見直し(PDCAサイクル)
 - ・不登校児童・生徒数減少に向けた「チーム稲築西義務教育学校」の体制づくり
- 〈教育課程に関すること〉
 - ・合理的配慮を踏まえ、基礎・基本の定着とさらなる学力の向上を目指したICT教育活用における教育課程の編成と実施及び短期評価観点に基づく評価と改善(GAP-D)
 - ・コミュニティスクールのスタートを目指した地域の教育資源活用と地域と連携した教育課程の編成
- 〈研修に関すること〉
 - ・危機管理及びキャリアに応じた専門的指導力の向上と実践
 - ・不祥事を起こさせない職員間の良好な関係を作るための研修の実施
 - ・嘉麻市研究発表を見据えた校内研修体制の推進(1年目)

教育課程編成の基本方針

嘉麻市の「小中一貫教育グランドデザイン」及び「小中一貫教育の9年間を見通したカリキュラムの軸」を基に社会に開かれた教育課程の実現を目指す教育の推進

校務運営の重点

学力向上プラン全体計画

教務運営の重点

重点的に取り組む内容

【前期】(第1・2・3・4学年)
 <確かな学力>基礎基本の習得と定着
 <豊かな心>友達との関わりの中で共に成長
 <健康・体力>何事にも一生懸命

【中期】(第5・6・7学年)
 <確かな学力>基礎基本を主体的に身に付け、考えを伝えるように明確に表現
 <豊かな心>自分の強みを見つけ、友達の良さを認めることが出来る
 <健康・体力>心身の発達を理解し、支え合いを通して粘り強く取り組む

【後期】(第8・9学年)
 <確かな学力>学びの蓄積を活用し、自分進路を考え、チャレンジする
 <豊かな心>豊かな感性を持ち、お互いを理解し、自他共(第1～第9学年)に誇りを持って行動できる
 <健康・体力>積極的に挑戦し、学校の代表として校内行事や対外的な活動にチャレンジする

各部の重点目標

- 教育課程部
 - ・嘉麻市の教育施策(少人数指導、小中一貫教育の方向性等)を活用した基礎基本の定着、向上と、道徳科等による心の育成。(人権尊重の行動化も含む)
 - ・カリキュラムマネジメントの視点、及び合理的配慮を踏まえた教育活動の推進。
 - ・特別の教科道徳における「議論する道徳」の推進と、適切な評価の実施
 - ・特別活動を要とする、計画的なブロック活動の実施
- 確かな学力育成部
 - ・学力C、D層児童・生徒の学力向上(目標値:全体の50%未満)のための手立て(単元テストの活用と補充学習)
 - ・主題研究を中心とした校内研修の充実と確実な個々の教員の指導力の向上をはかる一般研修の充実
 - ・ふるさと学習を中心とした、郷土を愛する人材育成
- 豊かな心育成部
 - ・積極的生徒指導・迅速な生徒指導を徹底し、自己指導能力の育成と、新たな不登校・不登校兆候の児童・生徒を生まない支援体制の構築
 - ・関係機関との連携
 - ・ブロック活動を基本に児童会と生徒会の協働体制を構築
- 健康・体力向上部
 - ・自他の生命の尊重、健康に関する自己管理能力の育成及び安全指導の徹底
 - ・安心、安全な新校舎活用の徹底と環境整備(清掃の徹底)
 - ・自校式給食の強みを活かした食育の推進
- 事務部
 - ・新校舎における予算執行の適切化と運用基準のサポート

各係の重点目標

学年経営の重点